

令和2年度 西金沢地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・高齢化率が高く山坂も多いこのエリアは、高齢者にとって外出の意欲をなくしてしまう環境であるが、移動販売車の運行が始まり、住民同士の交流や買い物困窮者への対策が進みつつある。しかし駐車場所を増やす等の対策が今後の課題である。また、高齢者世帯や8050問題等、支援が行き渡らない人たちの把握ができるよう支え合い見守りマップの作成、更に健康寿命を延ばし、元気な高齢者を増やすための介護予防講座の開催・元気づくりステーションを新規に立ち上げる。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

・関係機関のネットワークを強化し、支え合い見守りマップを作成する。

・西金沢地域支え合いネットワーク、支え合い連絡会、民生委員連絡会、出張相談、サロン等、地域住民との交流の場を活用し、課題を抱えた世帯、個別ケースの吸い上げ、情報の共有を強化する。

・移動販売車運行の周知の拡大や、更に便利に使えるように駐車場所の見直し、追加を行う。

・ケアプラザや地域サロンで終活講座を行い、エンディングノートの活用や成年後見制度利用促進を進める。

・ケアプラザ主催の介護予防講座の開催回数を増やす。
・元気づくりステーションを新規で立ち上げる。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度は、コロナ禍の中、できる事が限られてしまいましたが、高齢者世帯の見守り体制強化と8050問題等、支援が行き届かない世帯の把握を中心に民生委員と連携し支え合い見守りマップづくりを進めて参りました。また、本格的に稼働し始めた移動販売車についても生活支援コーディネーターが中心となり、各駐車場所での買い物支援者のネットワークが構築され、今後の拡充を目指して参ります。

事業については、今できる事を積極的に行い、公園や屋外を使用したロコモ予防講座・コグニサイズ・にしかな工房(ものづくり)・高齢者向けのスマホ講座等、高齢者が体力・気力を落とさないよう工夫をした事業を開催することができました。コロナ禍の中であっても感染対策をしっかり整え、地域住民が孤立しない様見守りを強化し、集える場をつくる事が地域ケアプラザの大事な役割である事を改めて考える機会となりました。

区からのコメント

コロナ禍で思うような事業展開ができない1年だったと思いますが、感染拡大防止に十分留意し対策を取りながら事業に取り組んでいただきました。見守りマップづくりは、複数の目で見守りを行うことで、孤立を防ぐとともに、関係機関との情報交換の機会にもなると思います。全エリアでの展開を目指し、引き続きお願いするとともに、その成果や課題について他ケアプラザにも情報共有していただきますようお願いいたします。移動販売については、プロジェクトを開催しながら地域の方の声に寄り添い支援していただいています。また、個別ケースや地域ケア会議でも課題になっている男性の活動場所についても、介護予防と連動させて新規事業を立ち上げるなど工夫して取り組んでいただいています。今後も地域の課題やニーズに寄り添った活動を継続してお願いいたします。